

はしがき

愛知大学経営総合科学研究所の「まちづくり」のプロジェクトも8回ほどになる。

例えば、私の故郷である信州の長野、小布施地域をはじめとして、視察年は異なるが諏訪、岡谷、上田、佐久などを巡り、富山、金沢の北陸地域などへも足を延ばした。それぞれの地域において様々な人々と出会い、ご当地のグルメも楽しんだ思い出がよみがえる。

2年連続の「水辺のまちづくり」プロジェクトでは、今まで主に視察対象となっていた中部地域を飛び出して、前回(2012年)は水郷で有名な柳川市および香取市を視察した。今回(2013年)はプロジェクトの2年目であり、近江八幡市と松江市の視察を行った。本研究所の予算の関係から、8月29、30日での近江八幡市の視察は、私を含め同市に比較的近いところに居住している駒木先生、麻生先生、角本先生、張先生の5名であった。29日は晴天に恵まれ、市役所の方からお話を伺い、30日は水郷めぐりをはじめ日牟禮八幡宮周辺を散策した。その後、われわれは台風に追われるように帰宅した。

つぎに、9月4、5、6日の松江市の視察は、不運にも大型の台風直撃を受けて、新幹線で来られた先生方は、岡山駅で足止めをくわされ、そこから松江までは困難を極めたが、何とか4日の夕方に松江市に着くことができた。なお、麻生先生は交通事情により参加できなくなり、長橋先生はご家族の急用で参加されなかったのは残念でした。予定としては当初7名での視察メンバーであったが、私を含め駒木先生、角本先生、張先生、藤井先生の5名で視察を行った。台風が去った5日からは晴天に恵まれ、松江城の堀川めぐりをはじめ、小泉八雲記念館など主たる観光資源を視察することができた。6日はカラコロ工房周辺の町並みなどを散策した後、数名のメンバーと振り子電車で揺られながら岡山に到着して、そこから新幹線に乗り継いで帰宅した。

2つの都市の視察において、日程前後の天候には恵まれなかったものの、たいへん充実した内容でありました。

この場を借りて、近江八幡市では総合政策部文化観光課の木俣美好氏、伴 浩和氏、松江市では産業観光部観光文化課の樋野智久氏に各市の観光まちづくりについてお話を頂き、謝意を表する次第です。

2014年 2月
愛知大学経営総合科学研究所
プロジェクト責任者
神頭広好